



Die Eiche

ディ・アイヘ

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in der Präfektur Chiba

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町2-681 ワールドナーシングホーム内

Phone: 047-467-6111 Fax: 047-467-6123

2004年 年次総会開催



講演するピュルシェル女史



乾杯の音頭をとる小野寺顧問

平成16年6月12日(土) 2:30~5:00PM

ヒルトン東京ベイ 地下1階「王朝」39名

台風4号が通り過ぎて、暑い日差しが戻った6月12日(土)の午後2時半より、数年前TVドラマで有名になったホテル「ヒルトン東京ベイ」地下の中華レストラン「王朝」で総会開催。西阪智晃事務局長より委任状を含めた出席者78名で総会成立が報告され、国枝誠昭副会長の開会の辞。次いで両国国歌がテープで流れ、平尾浩三会長の挨拶の後、鈴木常任理事を議長に選出して議事スタート。内容は

1. 平成15年度の事業報告(国枝副会長)
2. 同決算報告(下川会計担当)/会計監査報告(伊東監事)
3. 平成16年度事業計画(案)及び予算(案)(金谷専務理事)
4. 時期役員選任(平尾会長)

と続き、宗宮副会長が閉会の辞を述べて終了。

続いての記念講演は、ドイツ大使館二等書記官K・ピュルシェル女史による「日本に於けるドイツ年2005/2006」(下記)。女史は時折ドイツ語を混じえ、流暢な日本語で約40分話された。後は小野寺和夫東大名誉教授(当協会顧問)に乾杯の音頭をお願いして、懇親会。

王朝の高級中華料理や、当ホテルで元専務をしておられた会員の綿貫尚氏プレゼントのウォッカ、4月の「ワインを楽しむ会」の岩田勉氏差し入れの赤・白ワイン各3本で会員の交流も弾み、鳴門へのバス旅行に参加した水野晴美さんの報告、新入会員の小野浩氏、斎藤定雄順天堂大学名誉教授の紹介、久しぶりに参加の伊藤光昌、治昌氏の紹介があり、最後に *Mußi denn* を合唱して散会。

私は約二年前から大使館で儀典を担当していますが現在ドイツ年の準備に携わっており、千葉県でも、関連の事業が開催されます事を確信しています。

「日本におけるドイツ2005/2006」
ドイツ連邦共和国大使館二等書記官
政治部儀典担当 ケアステイン・ピュルシェル

二〇〇五/二〇〇六年のドイツ年においては、ドイツにとり重要なパートナーである日本に「科学・文化・経緯における新しいドイツ像等にドイツの若々しい活力、意欲的革新性、世界に開かれた社会の寛容さ」を伝えたいと考えています。特に日本の若者達にライフスタイル、ファッショントレンド、デザイン、現代建築、ポップミュージック、ナノテク、バイオテクノロジーなどについて紹介したいと思っています。

既にドイツ年の広報活動・キヤンペーンは始まりており、公式サイトは九月二十八日に開設され、同時にロゴマークも発表されます。又このロゴマークは本日数時間後にフリードリッヒスハーフェンから出発するツエペリン号に愛知万博のロゴマークと共に掲載されるのです。このツエペリン号は一九二九年の時とは逆周りで、ヘルシンキ、モスクワを経由し八月に札幌に寄航、霞ヶ浦でグラーツツエペリン号着陸七十五周年記念式典参加後、愛知へ向かうのです。

又、現在計画されている主なものは、ベルリン国立博物館展、ドルスデン国立美術館展、ベルリンフィル東京公演、お台場でのミクロ・マクロコスモス館の最新展示会などです。

千葉県日独協会では、協会設立十周年記念と合わせてドイツ年の行事を考えられると更に注目を集める事になろうかと思います。

又、日独協会関係では、来年三月宇都宮での日独・独日協会によるパートナー会議、夏の企業実習生交流がございます。

～今後の催物案内～

□ チター演奏会

日時：7月10日（土）14:30～17:00
 場所：西船フローラ（TEL 0120-262427）
 交通：JR 総武線西船橋駅南口より3分
 講師：日本チター協会会長
 内藤敏子先生（当協会理事）
 尚、演奏会終了後、懇親会を行います。
 会費：3,000円

□ ビール祭り

9月下旬～10月上旬の予定です。

— 会費納入のお願い —

平成16年度会費の納入を下記のとおりお願いします。

記

1. 金額 3000円
2. 納入法 別紙郵便振替にて



岩田氏



前列左より平尾会長、水野さん、伊東さん
 後列左より国枝副会長、綿貫、岩田、小泉、
 谷、坂本、橋口の各氏。

ワインを楽しむ会

ゴールデンウィークを間近に控えた4月25日、昨年の講演会で好評を得たメルシャンの岩田勉氏に再度お願いして「ワインを楽しむ会」と称し講演会を開催。

岩田氏は昨年同様の軽妙な語り口でワインの楽しみ方を説明。初参加した(株)リアルタイム・グラフィックス小泉社長が海外出張土産として持参してくれた2本の赤・白ワインについても即座に説明して参加者を感心させた。

小泉氏は、ワシントンとロンドンで開催された「危機管理会議」に出席、米国防総省は、日本におけるパソコンゲームに関心を持っており、最近はネットワーク対応のゲームを軍がいかに使いこなすかを議論しているとの事。特に我国のセガやコナミなどが作ったソフトの方が防衛産業大手制作のものより研究に適しているとされている由。

懇親会では平尾会長より、少年サッカーチームの交流と東山画伯がかつて留学した縁でこの7月にドイツのローゼンハイム市と姉妹都市になる市川市文化部の小林俊之国際交流課長、及びデュッセルドルフに駐在した経験のある千葉県商工労働部経済政策課の谷雅之氏と後任の佐藤氏が紹介された。懇親会では、大いに歓談し18時に散会。

【ワイン一口メモ】

- ・アルコールの中でアルカリ性はワインのみ。
- ・赤ワインは飲む1時間前に栓を抜き酸化されるようになる。白ワインは栓を開けて15分後が美味しい。
- ・千円前後のワインは早めに飲むこと。（保存しても高価なものにはならない）
- ・ワインは1日に1/3程度が身体に良い。残ったワインは250mlのミネラルウォーターのペットボトルに入れ、空気の部分がなくなる位にペットボトルを押しつぶして冷蔵庫に保存するとよい。
- ・世界的に美味しいワインの出来た年は最近では'90、'95、2000年。
- ・高いワインは、1本のブドウの木からとったブドウで1本のワインを作ったもの。また、1ヘクタールには平均して三千本のブドウの木が植えられており、その畠から何本のワインを作ったかで品質の推定が可能。